



2016年理系第1問

1 p は素数とする. 正の整数 n に対し, p^d が n の約数となる整数 d ($d \geq 0$) のなかで最大のものを $f(n)$ とする. このとき以下の問いに答えよ.

- (1) $p=3, n=3^2!$ のとき $f(n)$ の値を求めよ.
 (2) $p=5, n=5^2!$ のとき $f(n)$ の値を求めよ.
 (3) m が正の整数で $n=p^m!$ のとき $f(n)$ を求めよ.

(1) $n=9!$

$$= 1 \cdot 2 \cdot \underline{3} \cdot 4 \cdot 5 \cdot \underline{6} \cdot 7 \cdot 8 \cdot \underline{9}$$

よって, $n = 3^4 \times (\text{整数})$ と表せる.
 3 を素因数にもたない

よって, $\underline{f(n) = 4}$ //

(2) $n=25!$

$$= 1 \cdot 2 \cdot 3 \cdot 4 \cdot 5 \cdots \underline{10} \cdots \underline{15} \cdots \underline{20} \cdots \underline{25}$$

$$= 5^6 \times (\text{整数}) \text{ と表せる.}$$

5 を素因数にもたない

よって, $\underline{f(n) = 6}$ //

(3) $n=p^m!$

$$= 1 \cdot 2 \cdots p \cdots 2p \cdots p^m$$

p^m 以下の自然数の中で, p の倍数は $\frac{p^m}{p} = p^{m-1}$ 個.

p^2 の倍数は $\frac{p^m}{p^2} = p^{m-2}$ 個.

p^3 の倍数は p^{m-3} 個

⋮

p^m の倍数は 1 個

よって, $f(n) = 1 + p + p^2 + \cdots + p^{m-2} + p^{m-1}$

$$= \underline{\frac{1-p^m}{1-p}}$$
 //